
4. 応急措置

- 目に入った場合：切り屑等が入った場合、眼球を傷つける可能性があるため清浄な水で充分洗い流す。異常を感じるようであれば、速やかに専門医の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合：通常は人体に対してほとんど刺激無し。
- 吸入した場合：ホルムアルデヒドにより鼻、喉に刺激を感じた場合は換気を良くし、空気の新鮮な場所へ移る。
- 飲み込んだ場合：通常飲み込めないが、切り屑等を飲み込んだ場合は吐き出させる。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤：大量の水、噴霧水、フォーム（泡）、粉末消火剤、砂等。
- 消火方法：本製品自体に可燃性はないが、火災時には熱分解や不完全燃焼によりCO、CO₂等の有害ガスが発生する可能性があるため吸入しないよう注意する。火元への燃焼源を断ち、風上から大量の水または消火剤を使用して消火する。消火作業の際には、適切な空気呼吸器、保護服、保護手袋、顔面保護具等を着用する。
-

6. 漏出時の措置

該当なし

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い：保護マスクを着用し、切削加工時等に飛散する微粉末を吸い込まないようにする。また、端面は鋭利なため、手などにケガをしやすいため保護手袋を着用して取り扱う。（粉塵は可燃性のため金属の粉塵と区別し、粉塵爆発対策を行う。）組み立てや接着の際、VOCを含有する接着剤等の使用は極力避けた方が望ましい。
- 保管：平積みにして保管する。反りが出たり変色したりすることがあるので、雨水に濡らしたり直射日光にさらすことは避け、常温常湿の屋内で水に濡れない場所に保管する。また、地面や床面への直置きは避ける。F☆☆☆☆仕様の製品をF☆☆☆☆仕様等の製品や合板、パーティクルボード、MDFなどのホルムアルデヒドをより多く放散する物と同時保管した場合、移染が生じ本来の性能が損なわれる場合がある。
-

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策：切削加工時には粉塵が発生するため局所排気装置を設置し、作業中は有効に作動させる。
- 切削加工時：防塵マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護衣等を着用する。
-

9. 物理的及び化学的性質

- 外観：板状成形体（固体）
- 比重：約0.7（20℃）
- 揮発性：該当なし
- 溶解度：水に不溶
-

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性：化学的に安定

11. 有害性情報

皮膚腐食性、刺激性（皮膚、眼）、感作性：知見なし
急性毒性、慢性毒性、がん原性、変異原性、生殖毒性、催奇形性：知見なし

12. 環境影響情報

分解性、蓄積性、魚毒性：知見なし

13. 廃棄上の注意

可燃物として焼却可能だが、法的基準を満たした焼却場にて焼却する。焼却灰については、産業廃棄物として処理する。廃棄する場合は、産業廃棄物として処理し、原野・河川等に不法に投棄してはならない。

14. 輸送上の注意

危険有害性のない製品に分類され安全上問題はないが、変色や反りなどが発生しないように、直射日光にさらしたり水に濡れたりしないようにする。

15. 適用法令

建築基準法：F☆☆☆☆…内装仕上げの使用可能面積の制限無し。
労働安全衛生法：第57条の2 文書交付制度【対象物質 No.191 酸化チタン(IV)】

16. その他の情報

「記載内容について」
記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については情報提供であり、保証するものではありません。取り扱いには注意して下さい。なお、注意事項については通常の手続きを対象にしたものですので、特別な取り扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。
